

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス（志）

アミノサイエンス®で、人・社会・地球のWell-beingに貢献する

環境負荷削減
50%健康寿命延伸
10億人

② 中長期の経営戦略

1. 中期ASV経営2030

2030年のありたい姿から逆算し、ASV指標で経営が示す挑戦的目標を掲げ、事業モデル変革を追求

3. 高速開発システム導入

スピード×スケールアップを基軸に、既存事業と新事業の双方からオーガニック成長を推進

2. パーパス実行力強化

味の素グループWay（AGW）に基づき、マイパーパスワークショップで従業員の自分ごと化を推進

4. 無形資産強化

人財・技術・顧客・組織を価値創造の源泉として進化させ、企業文化を深化

③ 対処すべき課題

① 事業モデル変革

- ・フォーキャストとバックキャストの双方から新事業を創出
- ・事業ポートフォリオの進化で成長性を確保
- ・既存事業から新領域へのポートフォリオシフト

② 経営マネジメント進化

- ・構想力・実行力の強化が求められる段階
- ・経営マネジメントサイクルの進化を実行
- ・新陳代謝を支える企業文化醸成

③ ステークホルダー価値創造

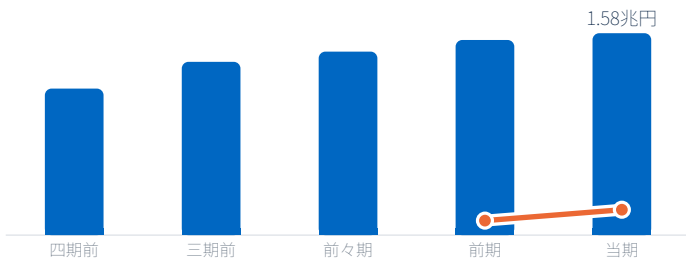
- ・マテリアリティ6項目による価値創造フレームワーク設定
- ・顧客・従業員・社会へのあらゆる利益提供
- ・多様な関係者との対話強化

面で使えるポイント

- ・アミノサイエンス®という独自技術で環境負荷50%削減と10億人の健康寿命延伸という2つのアウトカムに挑戦
- ・中期ASV経営2030ロードマップで長期視点の事業モデル変革に取り組み、高速開発システムで実行力強化中
- ・パーパス「人・社会・地球のWell-being」に基づき、全従業員が自分ごと化して挑戦する企業文化を構築

証券コード 2802

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.58兆円営業利益率
12.6%財務健康度
50点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 66.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,061万円

食料品内 3位/120社

平均年齢
43.5歳

食料品内 26位/121社

平均勤続
18.9年

食料品内 10位/121社

女性管理職
16.0%

食料品内 27位/106社

男性育休
89.6%

食料品内 50位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 味の素(株) 2026年秋季 家庭用新製品／リニューアル品

